

## 十日町市建設課

調査日：平成 16 年 11 月 9 日（火）

班：道路ネットワーク班

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：一般道路、交通ネットワーク、輸送

### 調査結果

#### (1)震災直後の状況（初動体制・情報収集等）

- ・震度 4 以上で職員は自動招集となることが要項で規定されている。
- ・被災当日は避難対策が主流であり、電話が通じないため職員を徒歩で各避難所に派遣して行き来しながら情報収集に当たった。戻ってきた職員の情報で通行止めを決めていった。
- ・翌日朝に建設課と維持課が 4 班に分かれて 2 人 1 組で車で行ける範囲内で被災状況の把握を行った。市道は 400km あり、生活に必要な道路のみを調査した。余震で安心して調査に行けない状態である。
- ・山地の被害状況は国土地理院が公開した上空写真から判断したが、高度が高すぎて分からない。

#### (2)応急修復の実施状況

- ・建設課は多くのタスクがあり道路だけでない。宅地周りの崩落の対応にも追われた。
- ・除雪作業のために、段差を解消する応急復旧を心がけた。生活道路から積極的に応急処置したいが、本格復旧は雪解け後である。
- ・下水道埋設部の液状化被害が激しい。沈下してなくても舗装下に空洞がある場合もあり、その全線での把握は困難である。盛土部分も多くやられており、応急工事を行っている。